

第 4 問

【解答】

仕 掛 品	
期 首 有 高	当 期 完 成 高 (6,165,000)
直 接 材 料 費 (3,945,000)	期 末 有 高 (640,000)
直 接 労 務 費 (1,625,000)	
変 動 製 造 間 接 費 (650,000)	
(6,805,000)	(6,805,000)

直接原価計算による損益計算書

(単位：円)

I 売 上 高		10,070,000
II 変 動 売 上 原 価		
1 期首製品棚卸高	710,000	
2 当期製品変動製造原価	(6,165,000)	
合 計	(6,875,000)	
3 期末製品棚卸高	(625,000)	
差 引	(6,250,000)	
4 原 価 差 異	(40,000)	(6,290,000)
変動製造マージン		(3,780,000)
III 変 動 販 売 費		(655,000)
貢 献 利 益		(3,125,000)
IV 固 定 費		
1 製 造 固 定 費	(1,374,000)	
2 固 定 販 売 費 ・ 一 般 管 理 費	(881,000)	(2,255,000)
営 業 利 益		(870,000)

【解説】

(1) 仕掛品勘定の記入

① 直接材料費の金額

$$\begin{aligned} \text{直接材料費} &= \text{期首有高} + \text{当期仕入高} - \text{期末有高} \\ &= 480,000 \text{ 円} + 3,880,000 \text{ 円} - 415,000 \text{ 円} \\ &= 3,945,000 \text{ 円} \end{aligned}$$

② 直接労務費の金額

$$\begin{aligned} \text{直接労務費} &= \text{直接工当期支払高} - \text{期首未払高} + \text{期末未払高} \\ &= 1,640,000 \text{ 円} - 220,000 \text{ 円} + 205,000 \text{ 円} \\ &= 1,625,000 \text{ 円} \end{aligned}$$

③ 変動製造間接費（予定配賦額）の金額

$$\begin{aligned} \text{変動製造間接費} &= \text{実際配賦基準数値（直接労務費）} \times \text{予定配賦率} \\ &= 1,625,000 \text{ 円} \times 40\% \\ &= 650,000 \text{ 円} \end{aligned}$$

④ 当期完成高の金額

借方合計額（6,805,000 円）から仕掛品の期末有高（640,000 円）を差し引いて算定する。

$$\begin{aligned} \text{当期完成高} &= 6,805,000 \text{ 円} - 640,000 \text{ 円} \\ &= 6,165,000 \text{ 円} \end{aligned}$$

(2) 損益計算書の作成

① 当期製品変動製造原価の金額

仕掛品勘定の当期完成高（6,165,000 円）の金額。

② 期末製品棚卸高の金額

製品の期末有高（625,000 円）の金額。

③ 原価差異の金額

原価差異は、変動製造間接費予定配賦額と変動製造間接費実際発生額の差額として算定する。

実際発生額は、次のように計算できる。

$$\begin{array}{r} \text{間接工賃金} : 510,000 \text{ 円} - 55,000 \text{ 円} + 48,000 \text{ 円} = 503,000 \text{ 円} \\ \text{電 力 料} : \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \underline{187,000 \text{ 円}} \\ \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \text{合 計} \quad \underline{\underline{690,000 \text{ 円}}} \end{array}$$

原価差異：650,000 円－690,000 円＝－40,000 円（借方差異）

借方差異は、売上原価に加算する。

④ 変動販売費の金額

[資料] 6 の変動販売費の金額 (655,000 円)。

⑤ 製造固定費の金額

製造固定費は、次のような計算できる。

工場従業員給料 :	720,000 円	-	85,000 円	+	80,000 円	=	715,000 円
保 險 料 :							210,000 円
減 価 償 却 費 :							264,000 円
その他の製造経費 :							<u>185,000 円</u>
						合 計	<u>1,374,000 円</u>

⑥ 固定販売費・一般管理費の金額

固定販売費 (406,000 円) + 一般管理費 (475,000 円) = 881,000 円

新版日商簿記テキスト工業簿記 pp.210-218 参照

第 5 問

第 1 工程月末仕掛品の原料費＝	138,000	円
第 1 工程月末仕掛品の加工費＝	135,000	円
第 2 工程月末仕掛品の前工程費＝	680,000	円
第 2 工程月末仕掛品の加工費＝	256,000	円
第 2 工程完成品総合原価費＝	9,288,000	円

【解説】

(1) 第 1 工程の計算

第 1 工程の生産データを原料費と加工費に分けて整理すると、次のとおりである。

原料費		加工費	
月初 400 個	完成 7,600 個	月初 200 個 ¹⁾	完成 7,600 個
当月 8,000 個 △ 200 個 7,800 個		当月 7,900 個 △ 200 個 7,700 個	
		仕損 200 個	
	月末 600 個		月末 300 個 ²⁾

1) 400 個×50% 2) 600 個×50%

第 1 工程では正常仕損が発生しているが、生産工程の途中で発生している場合には、発生点を始点と同様に考え、正常仕損費を完成品と月末仕掛品の両者に負担させる。この場合、月末仕掛品原価の計算において 当月投入数量から正常仕損量を差し引く。

① 月末仕掛品原価の計算 (平均法)

$$\text{原料費の月末仕掛品原価} : \frac{86,000 \text{ 円} + 1,800,000 \text{ 円}}{400 \text{ 個} + 8,000 \text{ 個} - 200 \text{ 個}} \times 600 \text{ 個} = \boxed{138,000 \text{ 円}}$$

$$\text{加工費の月末仕掛品原価} : \frac{175,000 \text{ 円} + 3,380,000 \text{ 円}}{200 \text{ 個} + 7,900 \text{ 個} - 200 \text{ 個}} \times 300 \text{ 個} = \boxed{135,000 \text{ 円}}$$

② 完成品総合原価の計算

原料費の完成品原価：(86,000 円+1,800,000 円) -138,000 円= 1,748,000 円
 加工費の完成品原価：(175,000 円+3,380,000 円) -135,000 円= 3,420,000 円
 合 計 5,168,000 円

↑

この金額が、第 2 工程の製造原価（前工程費）となる。

(1) 第 2 工程の計算

第 2 工程の生産データを前工程費と加工費に分けて整理すると、次のとおりである。

前工程費			加工費		
月初	800 個		月初	600 個 ¹⁾	
		完成 7,200 個			完成 7,200 個
		仕損 200 個			仕損 200 個
		月末 1,000 個			月末 400 個 ²⁾
当月	7,600 個		当月	7,200 個	

1) 800 個×75% 2) 1,000 個×40%

第 2 工程でも正常仕損が発生しているが、生産工程の終点で発生している場合には、正常仕損費を完成品
 のみに負担させる。この場合、月末仕掛品原価の計算において当月投入数量から正常仕損量を差し引かな
 い。

① 月末仕掛品原価の計算（先入先出法）

$$\text{前工程費の月末仕掛品原価} = \frac{5,168,000 \text{ 円}}{7,600 \text{ 個}} \times 1,000 \text{ 個} = 680,000 \text{ 円}$$

$$\text{加工費の月末仕掛品原価} = \frac{4,608,000 \text{ 円}}{7,200 \text{ 個}} \times 400 \text{ 個} = 256,000 \text{ 円}$$

② 完成品総合原価の計算

前工程費の完成品原価：(416,400 円+5,168,000 円) -680,000 円= 4,904,400 円

加工費の完成品原価：(241,600 円+4,608,000 円) -256,000 円= 4,593,600 円

正常仕損品に処分価額があるので、上記完成品原価の合計額から差し引くことで、第 2 工程の完成品総
 合原価を算定する。

$$\text{完成品総合原価} = 4,904,400 \text{ 円} + 4,593,600 \text{ 円} - 210,000 \text{ 円 (処分価額)} = 9,288,000 \text{ 円}$$

新版日商簿記テキスト工業簿記 pp.150-169 参照